

[ 様式 1 ]

## 令和2年度 三好市立学校評価報告書

学校名( 三好市立山城中学校 )  
校長名( 立花 久 ) 印

### 1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	2.8	感染症対策で制限の多い中、どのように教育活動を充実させていくか考え通した1年であった。職員や保護者が意見を出し合い、みんなで関わった。	様々な活動ができていて、子どもの笑顔が見られる。地域の子どもたちに対して魅力ある学校にしていってほしい。	経験に応じて、それぞれの教職員が学校運営に関わる意識をもつ。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.3	実現できなかったこともあったが、個々の行事や活動を吟味することによって、目標とする教育効果を得ることができた。	生徒数減少に対応して、複数学年で一つの活動を行うなど、工夫がされている。	子どもが活躍できる場の設定、方法の教授、評価のサイクルを実践し成長を促す。
③ 主要な教育活動に関する評価	2.8	全体の中で、自分の意見をしっかりと伝える生徒が増えている。自尊感情を育てる取組を続けていかなければならない。	わかりやすい授業の展開に対してよく工夫がされている。今後、新たなICT機器が導入されたときに、それに対応していかなければならない。	自分のことが語れる生徒とそれにつなげることができる関係を築き、対話によって考えを深めることができる体制をつくる。
④ 保護者及び地域との連携等に関する評価	2.2	保護者や地域の体制は協力的であったが、感染予防のため、校外での活動がほとんどできなかった。	学校の様子を分かりやすく知らせることが、保護者や地域との連携のしやすさにつながる。	コミュニティスクールとしての活動を進める。
⑤ その他、上記以外に関する評価 (教職員の協働体制の確立)	2.6	他者の担当の仕事の内容がわからず、協力ができない場面があった。	組織として取り組むことが肝要	だれもが役割分担をしやすいうように仕事内容の見える化を行う。

- (1) 評価基準については、次の通りとする。
- 評価基準 4=達成度が 90～100 %  
3=達成度が 70～ 90 %  
2=達成度が 50～ 70 %  
1=達成度が 50% 未満

- (2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の1～5の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。
- (3) 総括評価の「評価分野」及び分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。
- (4) 分野別評価の「自己評価結果の概要」欄については、特に評価が 4 及び 1 について記入する。
- (5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会において評価された結果をまとめたものを記入する。
- (6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。